

横浜市都市美対策審議会景観審議部会  
北仲通北地区B-2地区

---

景観形成の考え方

2016.5 .26  
アパマンション株式会社

浅草のまち並み再生のまちづくりの目的と基本方針

浅草のまち並み再生のまちづくりの目的と基本方針

## 目次

- 01 復元壁の分節化3つの方針 1. 色による分節
- 02 復元壁の分節化3つの方針 2. 形態による分節
- 03 復元壁の分節化3つの方針 3. 照明効果による分節 夜景(原案)
- 04 復元壁の分節化3つの方針 3. 照明効果による分節 夜景(調整案)
- 05 外装仕上げ材の方向性の確認 万国橋通り沿いのファサード
- 06 壁面緑化範囲の見直し3つの方針
- 07 高層部の外装材と明度の確認
- 08 頂部サインの位置と大きさ
- 09 水際線プロムナードからの見え方の検討
- 10 水際線プロムナードの舗装の考え方



# 復元壁の分節化 3つの方針

## 1. 色による分節

ホテルエントランスのルーバー壁は北仲ブリック色で規定された中の出来るだけ濃い色とし、色における分節化を行なう。  
ただし万国橋復元壁で使用するレンガ調タイルと同系の質感をもつテラコッタルーバーを用いることで復元壁と新設壁の連続性にも配慮する。

## 2. 形態による分節

平面的なクリアランスをとり形態的に明確に区分する。ただし底は一体に連続させて統一感ある美観を形成する。

## 3. 照明効果による分節 (夜間)



## 1. 色による分節

原案

調整案

復元壁の分節化 3つの方針

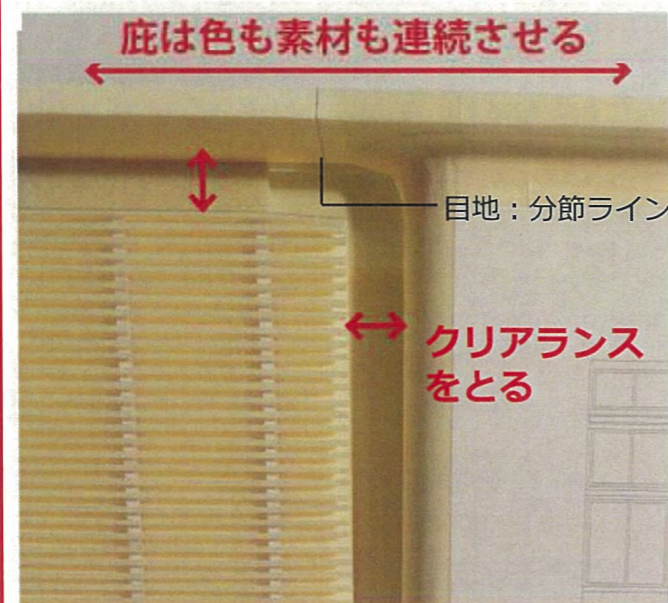
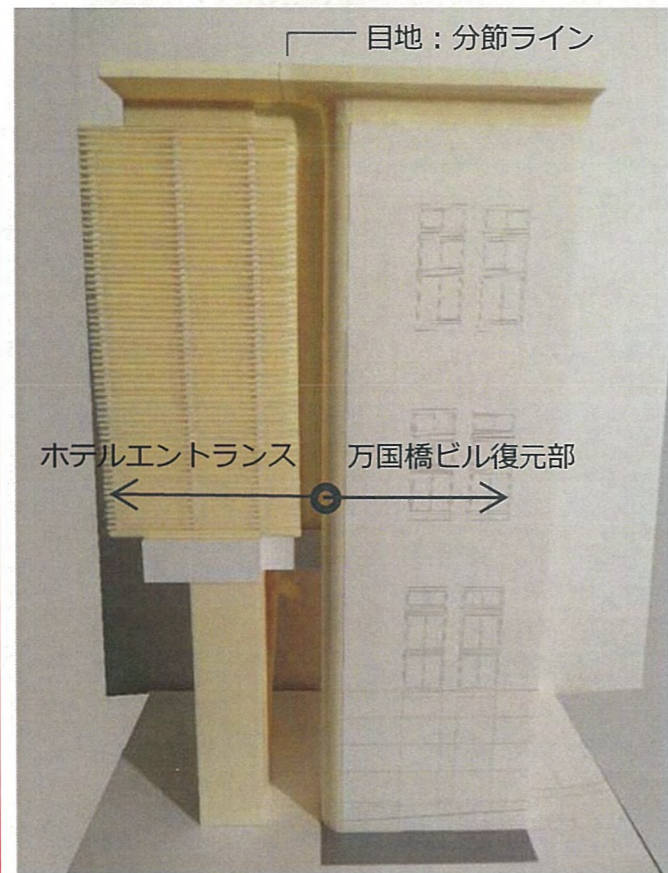
1. 色による分節



# 復元壁の分節化 3 つの方針

## 1/20模型による底と壁の取合い検討

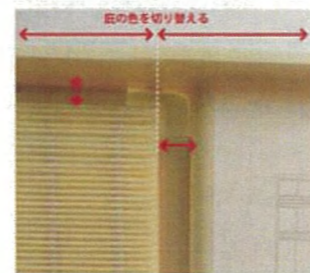
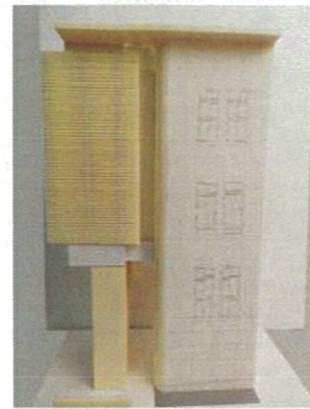
- CASE ①**  底形状：連続    
 底色：同色    
 復元壁間：スリットによる分節



スリットをL字に通し、底を連続させながらも、分節した設えとする  
 スリットにより、万国橋ビルの壁のR形状を認識させるデザイン

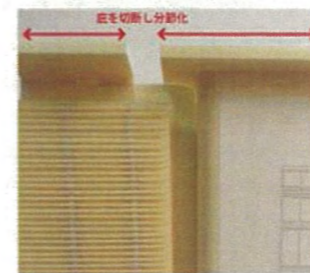
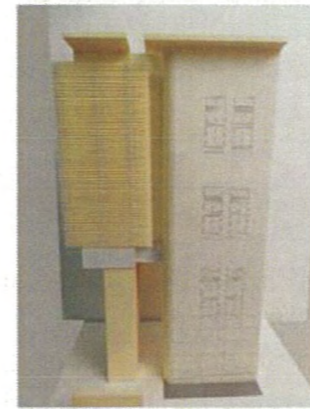
**採用案**

- CASE ②**  底形状：連続    
 底色：色も分節    
 復元壁間：スリットによる分節



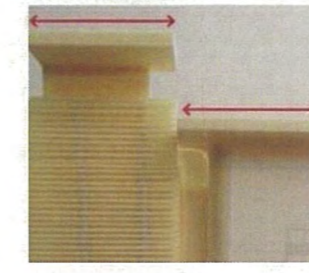
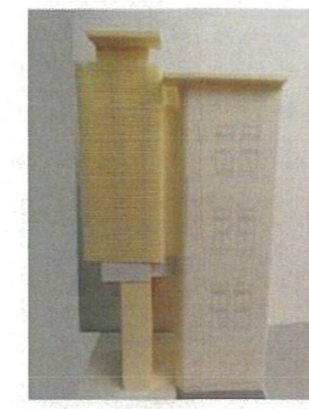
底の色の切替りが不自然

- CASE ③**  底形状：分節 (同レベル)    
 底色：色も分節    
 復元壁間：スリットによる分節



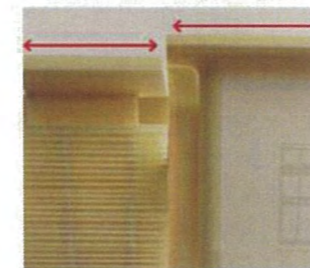
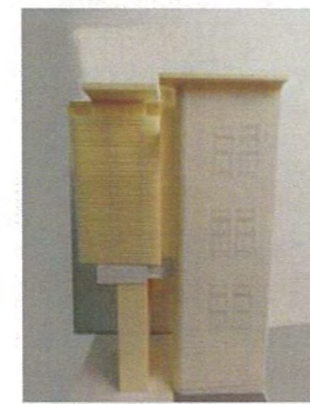
スリット位置は、ファサード全体で見ると不自然  
 雨などによる汚れの懸念  
 客入りへの影響の危惧

- CASE ④**  底形状：分節 (高くする)    
 底色：色も分節    
 復元壁間：スリットによる分節



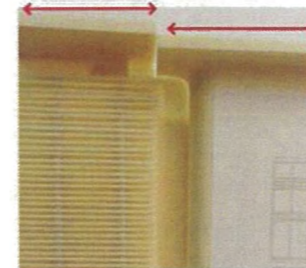
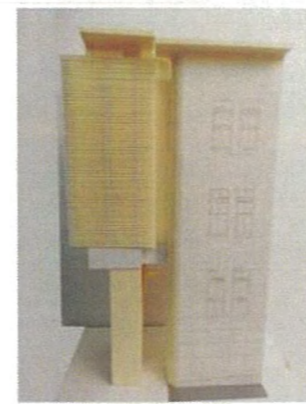
雨などによる汚れの懸念  
 ルーバーの切替が位置が不自然

- CASE ⑤**  底形状：分節 (低くする)    
 底色：色も分節    
 復元壁間：スリットによる分節



雨などによる汚れの懸念  
 屋上テラス機能の欠落  
 スラブとの取合いが不自然

- CASE ⑥**  底形状：分節 (高くする)    
 底色：色も分節    
 復元壁間：スリットによる分節



雨などによる汚れの懸念  
 スリットのラインがきれいに通らない  
 ルーバーの切替位置が不自然

## 2. 形態による分節

万国橋ビルの壁面  
 端部よりクリアランスをとり形態で  
 明確に分節化

色と素材が連続した  
 底による統一感ある  
 美観の形成



3. 照明効果による分節(夜間)

原案





### 3. 照明効果による分節（夜間）

照明効果の違いによる分節化で  
夜間の万国橋ビルの独立性を確保します。

調整案

- ホテルエントランスコーニス照明
- 万国橋ビル舗装面からのライトアップ





# 外装仕上げ材の方向性の確認

## 万国橋通り沿いのファサード

- ・ホテルエントランスのサインの地の色、及びその直下の柱型には、オレンジ系の色を加え**アクセント**とし万国橋ビルの**新築復元壁との分節の一助**とします。  
その色は横浜第二合同庁舎のタイル色と同一色とし街路沿の街並みの調和に配慮します。ただし周囲との調和に配慮し、その質感は光沢のないマットな仕上りとします。  
合わせて、宿泊者の来館時の視認性に配慮し、**看板が見づらくな**ないように**目地を出来る限り少なくした大判のパネル**とします。
- ・メインエントランス部分は、多くのホテル利用者を迎えるに相応しい**ホテルの玄関としての重厚感**を感じられるよう、御影石の黒系（磨き及びバーナー）と白系を適度に使用し、2色の御影石により**コントラストを明確に**することで、**メリハリのあるエントランス外観デザイン**とします。
- ・万国橋ビルの復元にあたってはディテールにも配慮します。



万国橋ビル復元部 既存タイル



正面ホテルエントランス部 白系御影石



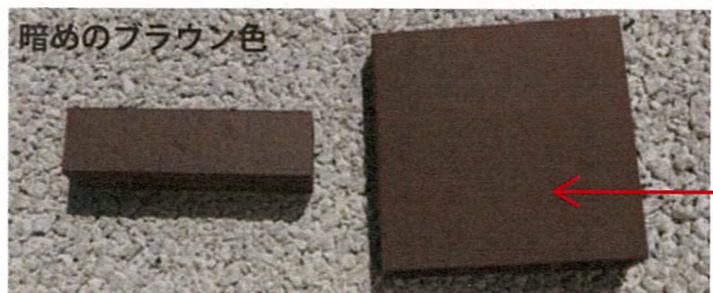
正面ホテルエントランス部 黒系御影石（本磨き）



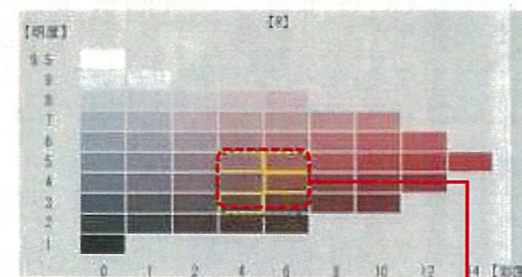
横浜第二合同庁舎のタイルの外観



横浜第二合同庁舎のタイル 色層・明度/彩度の確認

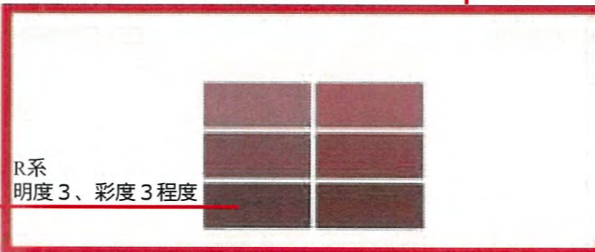


テラコッタルーバー



調査結果をもとに「北仲ブリック色」として歴史的建造物のサンプルとほぼ同じ色味を選択

【北仲ブリック色】素材・色彩パレット



### 外装仕上げ材の方向性の確認

### 万国橋通り沿いのファサード



# 壁面緑化範囲の一部を見直しテラコッタルーバーに変更する3つの方針

## 1. 3層構成の明確な切替

壁面緑化の一部を白系のテラコッタルーバー壁に変更することで、水際線プロムナード沿いの低層部における垂直方向の3層構成の「上層」と「中間層」をより明確に切替（デザインガイドラインの考え方）

## 2. 地区間の景観の統一性・連続性への配慮

水際線プロムナード沿いの外壁に自然素材系の材料（白系テラコッタルーバー）を使う範囲を拡大し地区間の景観的な統一性・連続性をより強める

## 3. 壁面緑化の持続性確保

コンセプトに沿った緑量感を保ちながら、壁面緑化の持続性と管理のし易さに配慮し壁面緑化範囲を縮小



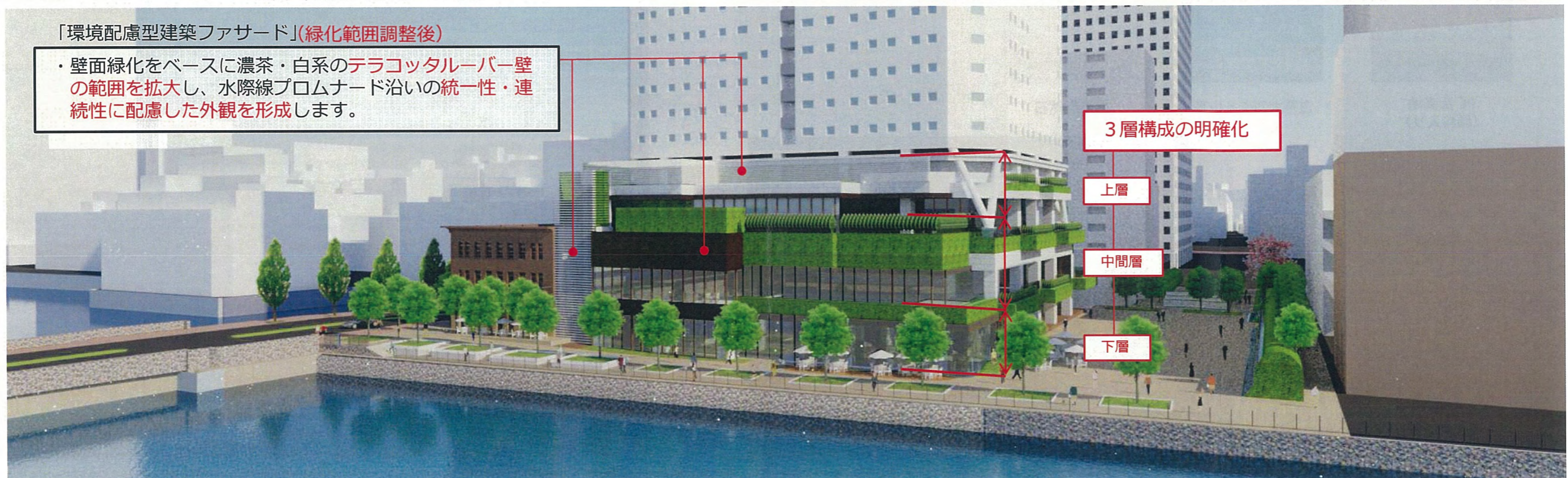
北面（水際プロムナード面）



北西面（自動車道面）



南面（隣地建物面）



壁面緑化範囲の見直し3つの方針

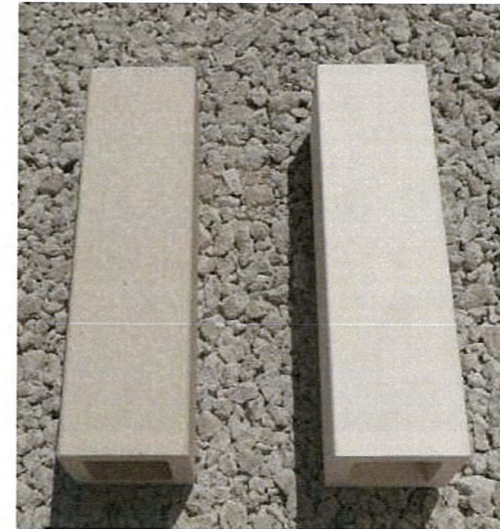


# 外装材仕上げ材の方向性の確認 (高層部PC外壁部分/低層部ルーバー部分)



高層部外壁素材 (白系)

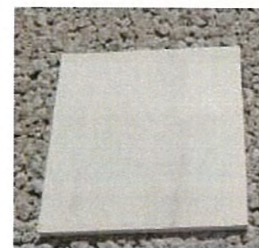
低層部ルーバー部素材 (白系)



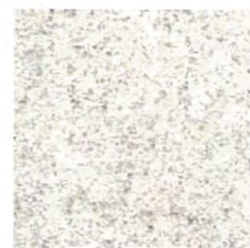
白系テラコッタルーバー



PC 版素地 (顔料入り)



白系大判タイル等



白系自然石



モンタージュの色調整



(実際に近い色合い)

高層部の外装材と明度の確認



# 頂部サインの位置と大きさのパターン比較

海側頂部サイン位置



中央配置



端部配置



中央配置

馬車道駅側頂部サイン位置



中央配置



端部配置

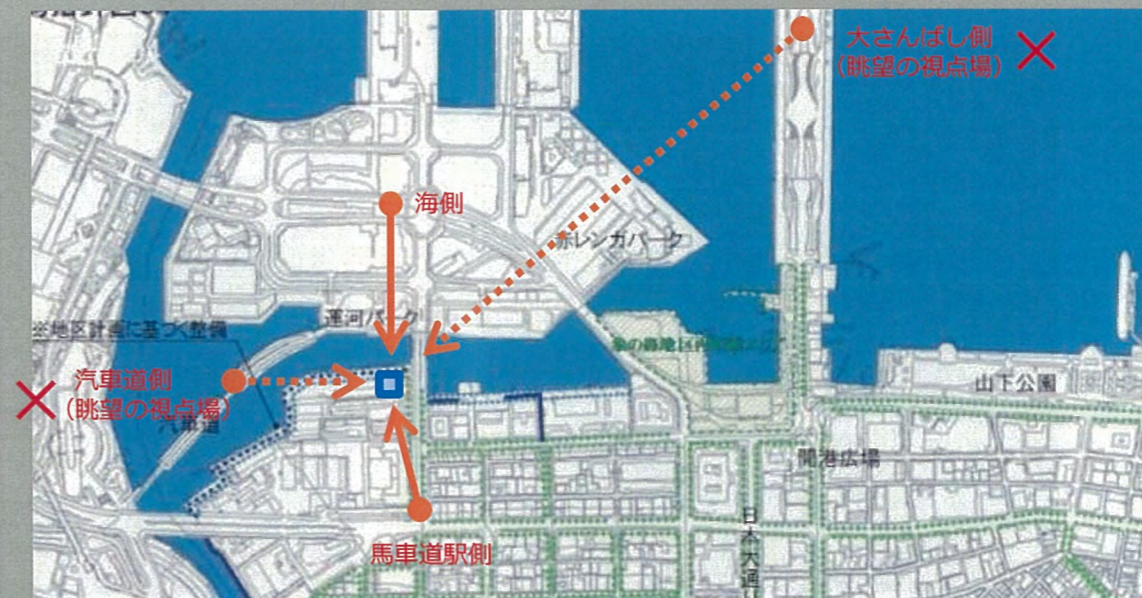


中央配置

採用案

## 頂部サインの考え方

- サイン文字は最小限の3文字としシンプルにみせる
- 頂部サインの位置は、馬車道駅からの視認性などを確認すると端部に寄せる必要はなく、**建物としてバランスの良い中央に配置します。**
- 「みなとみらい21地区内の某ビル(自動車側のビル)の屋上壁面とサインの見付け面積比較  
 アパホテル : 約5.5%  
 MM21地区某ビル : 約5.1%  
 →大きく異なるサイズ感ではなく、屋上壁面の高さの約1/3となる現状の大きさが全体としてバランスがよい、左記 □ で囲んだサインを進めたい。



- ❌ 眺望を阻害する屋外広告物を設置しない
- ➡️ 落ち着いた文字主体のホテル名称サインを設置 (2面)



サインイメージ(昼)



(夜)



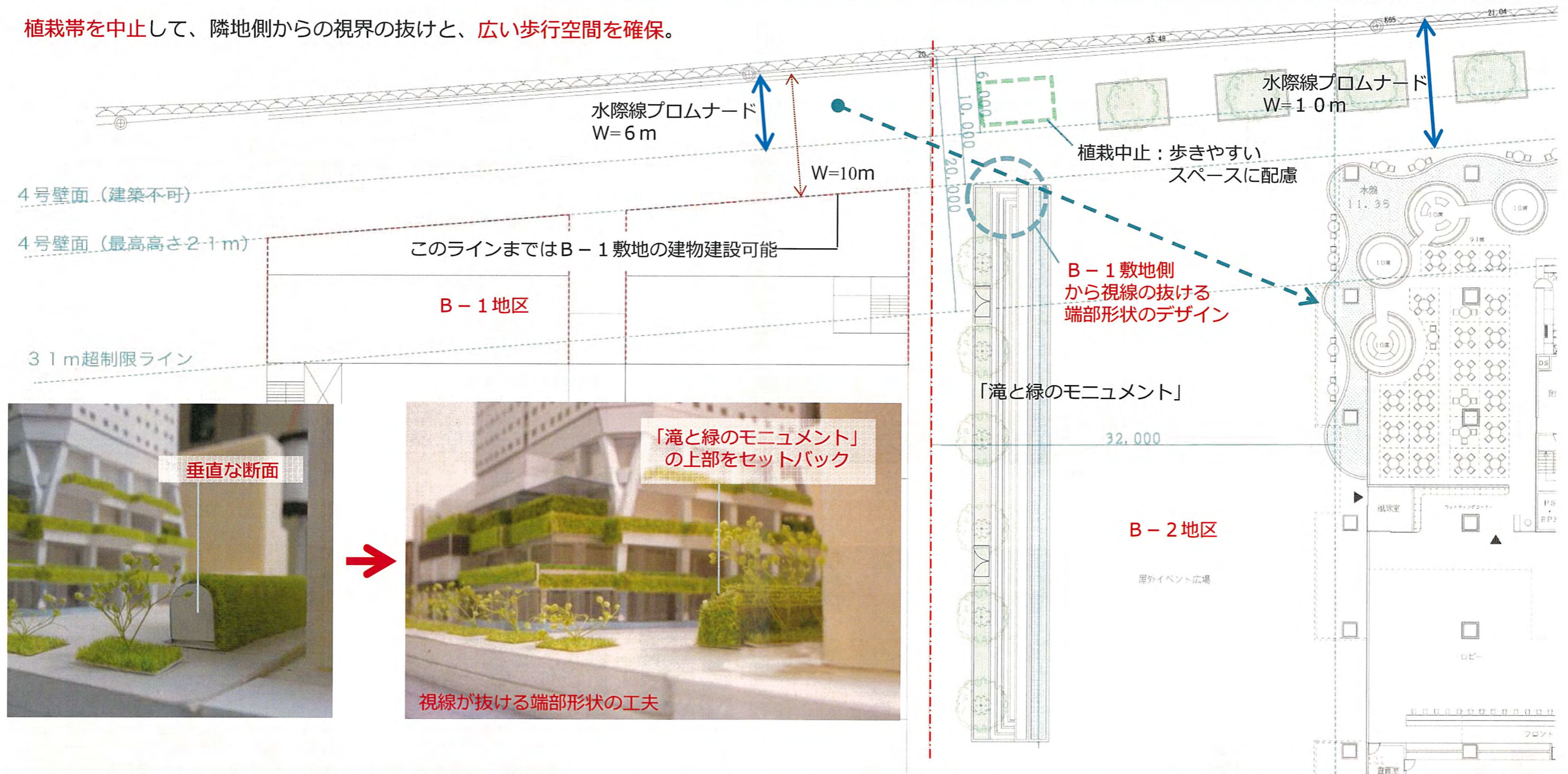
文字数が多い場合  
(本計画では3文字)

## 頂部サインの位置と大きさ



# 水際線プロムナードからの見え方の検討

- 「滝と緑のモニュメント」は緑量を感じられるものとし、端部の形状はシャープな垂直断面とせず、視線の抜けやすく、圧迫感を感じないデザインとなるよう検討する。
- 植栽帯を中止して、隣地側からの視界の抜けと、広い歩行空間を確保。



隣地建物側：企画提案書時点の配置

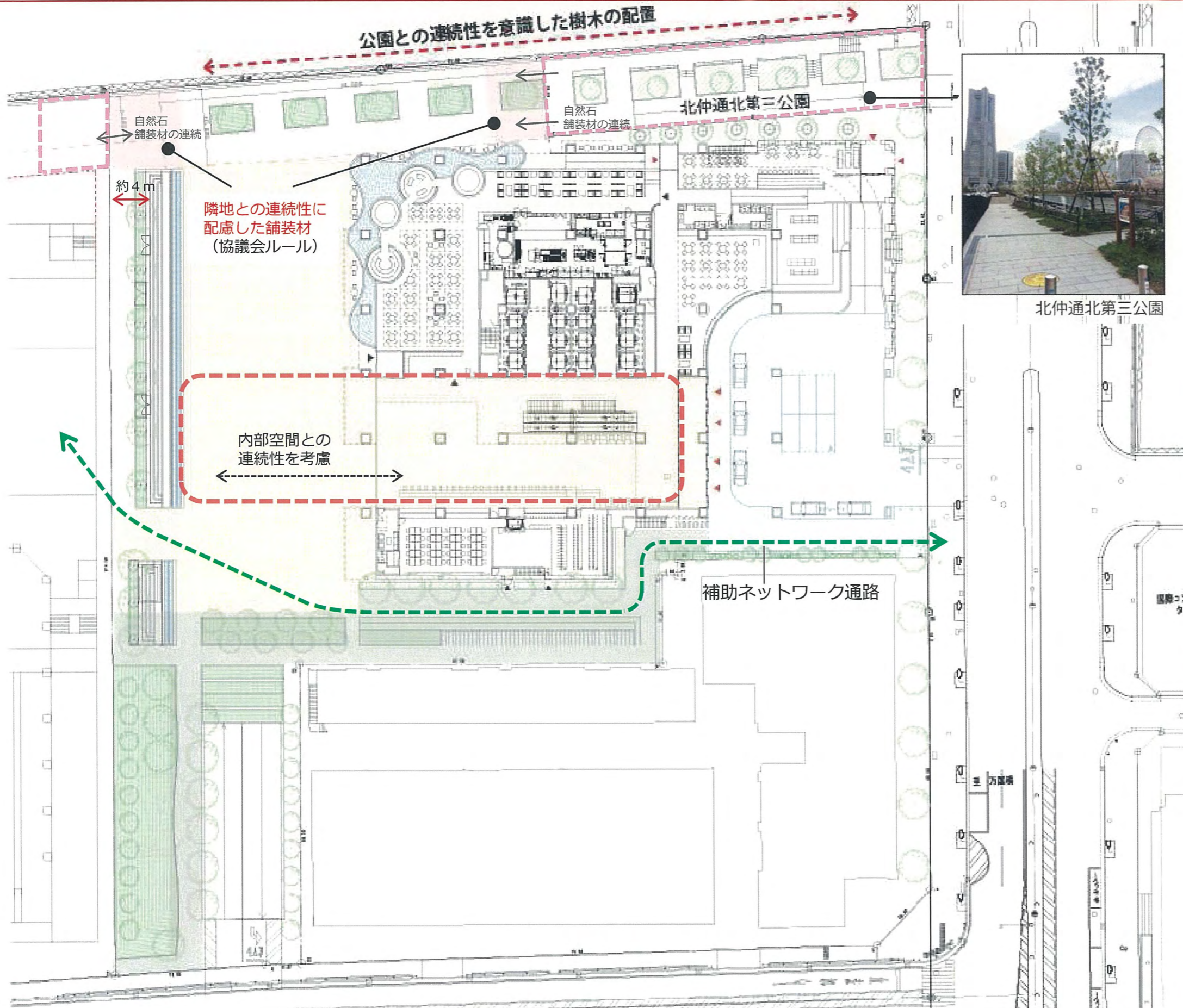


隣地建物側で埋立法線から10mまで建物が寄った場合

水際線プロムナードからの見え方の検討



# 水際線プロムナードの舗装の考え方（共通ルール）



## 水際線プロムナードの舗装の考え方

- 使用床材の選定は北仲通北第三公園や隣地との連続性に配慮した舗装材（エリマネ協議会のデザイン調整会議による共通ルール）とする。

### 【共通ルール】

各地権者のプロムナードの隣地と接する両端（公園と接する範囲も含む）については、連続性を考慮して自然石舗装とし、中央部分は各地権者ごとにオリジナル性を盛り込むこととする。

## 水際線プロムナードの舗装の考え方